

米国におけるインフラ投資についての バイデン政権と共和党との協議の動き

ます くら かつ しげ
益 倉 克 成*

5月号で、バイデン大統領の提案の1兆9,000億ドルのコロナウイルス対応法案が成立したこと、American Jobs Planと名付けられたインフラ投資主体の景気刺激と雇用確保の2兆3,000億ドルの包括法案がバイデン大統領によって提案されたことを紹介したが、これらに関して2つの大きな動きが起こっている。

1つは、American Jobs Planを法律化するための政権と上院の共和党との対話である。投資規模、内容や財源確保手法について、大きな差異が当初にあったが、両者ともインフラ出資の必要性には異論はなく、今後も対話が継続される。

もう一つの対話は、ハイウェイや公共交通の事業の財源に出資しているハイウェイトラストファンドに資金提供する法律（FAST法）の再認可についての上院の民主党と共和党の間のものである。FAST法は、現在1年間の暫定的な延長により、9月末に期限切れを迎えため資金提供を継続するために再認可が急がれている。こちらは、共和党と民主党の間で超党派の合意に達し5年で3,035億ドルのハイウェイ法案が上院の委員会を通過した。

1. バイデン大統領の就任後の100日間と今後の100日間に予想される動きの報道

最初の100日の重要な動きは、1兆9,000億ドルのパンデミック救済法案の制定と2つの他の大規模な法案（1つはインフラ投資主体のAmerican Jobs Plan）の提案とされている。今後の100日間ではこれらの取りまとめが行われると同時に、建設部門に大きな影響を及ぼす立法上と規制上の以下の行動が取られると予測されている。

- ・上院を通過した350億ドルの水インフラ法案の法制化

- ・9月末に期限切れになるハイウェイと公共交通に出資するFixing America's Surface Transportation（FAST）法の再認可
- ・下院を通過した労働者の団結する保護権利（すなわちPRO）法の制定（業界には大きな反発が予測される）
- ・環境、エネルギー、気候変動への対応策
- ・クリーンエネルギー推進のインセンティブ付け

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (4/30)
https://www.enr.com/articles/51675-bidens-next-100-days-major-impacts-expected-for-the-construction-industry?oly_enc_id=397011184045D5H

2. パンデミック救済法案の中の州と自治体向けの3,500億ドルの配分の詳細についての財務省の公表

パンデミック救済法案には、明示的にインフラ出資が示されているものは少数とされていたが、州と自治体向けの出資の中に、インフラへの出資が可能なものがあることが、財務省の詳細の発表で明らかになってきた。これらについて、州などからの応募が開始され、交通や水インフラへの出資が適格になることに業界団体が期待している。資金の合計の配分は以下の通りとされている。州とワシントンDCに合計1,953億ドル、郡に合計651億ドル、大都市圏の都市に合計456億ドル、部族政府に200億ドル、準州45億ドル、他の地方自治体に195億ドルに配分の予定である。

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (5/11)
https://www.enr.com/articles/51724-rescue-act-aid-starts-to-move-some-infrastructure-types-may-benefit?oly_enc_id=397011184045D5H

*一般社団法人近畿地域づくり研究所 上席研究員

3. American Jobs Planと名付けられたインフラ投資主体の景気刺激と雇用確保の法案を成立させるための政権と上院の共和党との対話

バイデン政権と上院共和党との話し合いが妥協点を求めて継続的に行われている。

1) 政権の額の縮小の提案

バイデン政権がAmerican Jobs Planについて、5,500億ドル縮減した新しい1兆7,000億ドルの提案を行った。研究開発、サプライ・チェーン、製造、および中小企業に関連する出資を他の法案に移行させることと、ブロードバンドと、道路、橋梁などの主要なインフラを共和党の提案に近づけることによって調整されている。

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (5/20)
https://www.enr.com/articles/51789-update-gop-senators-criticize-bidens-reduced-infra-structure-offer?oly_enc_id=397011184045D5H

2) 共和党のインフラ法案についての約1兆ドルに増額した案の提示

上院の共和党が、ホワイトハウスと妥協する目的で5,680億ドルの当初の提案をほぼ1兆ドルまで増額した提案をホワイトハウスに5月末に提示した。共和党と民主党は両方とも、インフラへの支出を支持しているが、この時点では、両者は、財源、法案に含まれる項目について不一致のままである。

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (5/27)
https://www.enr.com/articles/51817-gop-senators-go-higher-in-new-infra-structure-funding-proposal?oly_enc_id=397011184045D5H

3) その後の対話の一時中止と秋の合意を目指した継続

合意の期限を6月7日に延長して対話が継続されていたが、この期限内には合意が成立せず、大統領は一旦対話を中断し、今後、共和党のメンバーを変更して、秋の合意を目指すことを表明した。この時点での、両者の差異をまとめると以下ようになる。金額と内容：大統領側、1兆7,000億ドル、復員軍人委員会の病院とケアセンターなどを含む。上院共和党側、9,280億ドル、基本的な道路、橋梁、ハイウェイのインフラに限定。財源：大統領側、21%から28%への法人税率の増大。共和党側、使い果たされていないCOVID-19援助の資金の活用。今後の対話の継続が予測されるが、最終的に超党派的な合意に至るか、民主党の単独で成立させるかは

未確定のようである。ただし、上院の勢力が与野党で50対50の同数の状況で、大統領の案に反対を表明している民主党の上院議員が存在していることから大統領に厳しい状況と報道されている。

[参考記事] ENR.COM 2021/6/8
https://www.enr.com/external_headlines/story?region=&story_id=gRAmAYfeTZIpg_u_VslCbgnYb35WXLULnuKF0j3tirXSZ0M1nOWI5fmHY2cv1HQQCxC0kVxoQFL5nfTZUc4PmgIcaAc1_9kqPAMXCRUloIsjn0eMORlIPiP0GGICxl-VPiE_3iUKA-45_V0Gil_1KMECL1EGg_CACpzGb_O-q4g*&images_premium=1&define_caption=1&oly_enc_id=397011184045D5H

4. 上院の共和党と民主党の5年で3,035億ドルのハイウェイ法案の合意

包括的なインフラ法案の対話の継続と並行して、上院環境及び公共事業委員会の民主党の委員長と共和党のトップの議員が、5年で3,035億ドルのハイウェイ法案の超党派の合意に達し委員会を通過した。他の委員会の管轄になる公共交通、道路安全、収入確保の課題は残っているとのことである。5年間の3,035億ドルは現状の34%増とのことである。今後、個別で成立するか、広範な法案の一部になるかは今後の課題とのことである。

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (5/26)
<https://www.enr.com/articles/51805-senate-committee-unanimously-approves-5-year-304b-highway-bill>

5. バイデン大統領の2022年度の連邦予算の提案

大統領が10月から開始される2022年度のために6兆ドルの連邦予算を発表した。予算は、第二次世界大戦以来の最も野心的なパッケージとして医療、教育、交通、および気候変動への投資を含み、2031年の終わりまでに毎年8兆2,000億ドルを使うことが想定されているとのことである。また、予算の詳細と、税制の詳細が合わせて報道されている。

[参考記事] Engineering News-Record (tiered subscription model) (5/28)
https://www.enr.com/articles/51826-biden-fiscal-2022-budget-boosts-many-construction-programs?oly_enc_id=397011184045D5H